

都市再生整備計画 事後評価シート  
関内・関外周辺地区

平成26年3月

神奈川県横浜市



様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	関内・関外周辺地区			面積	600ha
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	2,360百万円	国費率	0.4		

		事業名							
		当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		提案事業			
1)事業の実施状況	当初計画から削除した事業			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
				【道路】市道山手元町線(電線共同溝整備)、関内駅北口駅前(伊勢佐木町82号線)【公園】横浜公園、港の見える丘公園、【地域生活基盤施設】関内・関外地区案内サイン整備、【高質空間形成施設】中区山手町山手通り					
					【地域創造支援事業】ストロングビル外観復元工事・初黄・日ノ出地区京急高架下活用【まちづくり活動推進事業】初黄・日ノ出地区エリアマネジメント				
	当初計画から削除した事業	基幹事業			【道路】関内駅北口駅前(伊勢佐木町82号線)	関内・関外活性化推進計画の策定に伴い、事業の再検討が必要になったため。		影響なし	
					【地域生活基盤施設】関内・関外地区案内サイン整備	関内・関外活性化推進計画の策定に伴い、関内駅舎整備とのスケジュールの調整が必要となったため。		影響なし	
					【道路】一般県道弥生台桜木町歩行者環境整備	社会資本総合整備計画(市街地整備)での執行に変更したため。		影響なし	
					【公園】港の見える丘公園	関係機関との協議不調に伴い、計画期間内の事業着手が見込めなため。		影響なし	
			提案事業	なし		-		-	
	新たに追加した事業	基幹事業			【道路】一般県道弥生台桜木町歩行者環境整備	地元説明に時間を要し、新規事業としての決定が21年度になったため。		影響なし	
					【公園】本牧十二天緑地	より一層のにぎわいの創出や回遊性の向上、地域の活性化を促進するため、本牧十二天などの歴史的観光資源も点在する区域を拡大した。		影響なし	
					【公園】大通公園	一体的なまちづくりを推進し、賑わいの創出、回遊性の向上を図るため、関連事業から移行した。		影響なし	
					【公園】港の見える丘公園(拡張)	横浜市民の緑化活動や交流の拠点となる「みどり広場」として整備するとともに、山手地区一帯の観光拠点機能を持った広場として整備するため。		影響なし	
					【高質空間形成施設】関内駅北口駅前(マリナード地下街)	関内・関外活性化推進計画の策定に伴い事業を追加した。市民意見募集でもバリアフリー等関内駅の整備に関する意見が多数寄せられた。		影響なし	
					【高質空間形成施設】市道万国橋通第7006号	関内・関外活性化推進計画の策定に伴い事業を追加した。市民意見募集でも回遊性の強化、ガス灯の整備に関する意見が多数寄せられた。		影響なし	
					提案事業	【地域創造支援事業】カトリック横浜司教館別館外観改修		歴史を活かしたまちづくり要綱に基づく取組。「関内・関外地区活性化推進計画」策定に伴う市民意見募集の結果を反映した。	
			提案事業	【地域創造支援事業】綜通横浜ビル外観改修		歴史を活かしたまちづくり要綱に基づく取組。「関内・関外地区活性化推進計画」策定に伴う市民意見募集の結果を反映した。		影響なし	
		提案事業	【事業活用調査】歩行者環境整備検討		関内・関外活性化推進計画の策定に伴い、当初予定していた整備計画の再検討を行うこととなったため。		影響なし		
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし			
	変更	-							

	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	駅乗降者数	人/日	(参考値: 458,000 509,000)	H19	(参考値: 480,000 533,000)	H25		534,438 (推計)	○	あり - なし -	平成27年8月	
	指標2	山手の公開西洋館の入館者数	人/年	726,864	H19	750,000	H25		921,769	○	あり - なし -	平成26年8月	
	指標3	初黄地区小規模営業店舗再利用件数	件	73	H19	100	H25		145	○	あり - なし -	-	
3) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の数値指標1	黄金町バザール来場者数	人/年	10,000	H21				20,760			まちの取組を多くの人に知ってもらうことにより、地区内のイベントの来場者数の増加に貢献したと考えられる。	-
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内で定期的なイベント等が開催されるようになり、賑わいに寄与している。</li> <li>・地区内の整備を進めたことにより、来街者の安全確保につながっていると、よりよい街並み景観を創出した。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング	当該地区の持続的な活性化を図ることを目的とした「関内・関外地区活性化推進計画」策定時の市民意見募集の結果や、都心部の賑わいづくり・あり方に関する市民アンケートの結果を踏まえ、事業の検討を行った。 ・関内・関外地区活性化推進計画策定に伴う市民意見募集、ヨコハマアンケート「横浜都心部における横浜ならではの賑わいづくりに関するアンケート」、ヨコハマアンケート「これからの横浜都心部のあり方に関するアンケート」			都市再生整備計画に記載し、実施できた					今後もアンケート等を活用し、市民の声を反映したまちづくりを進めていく。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

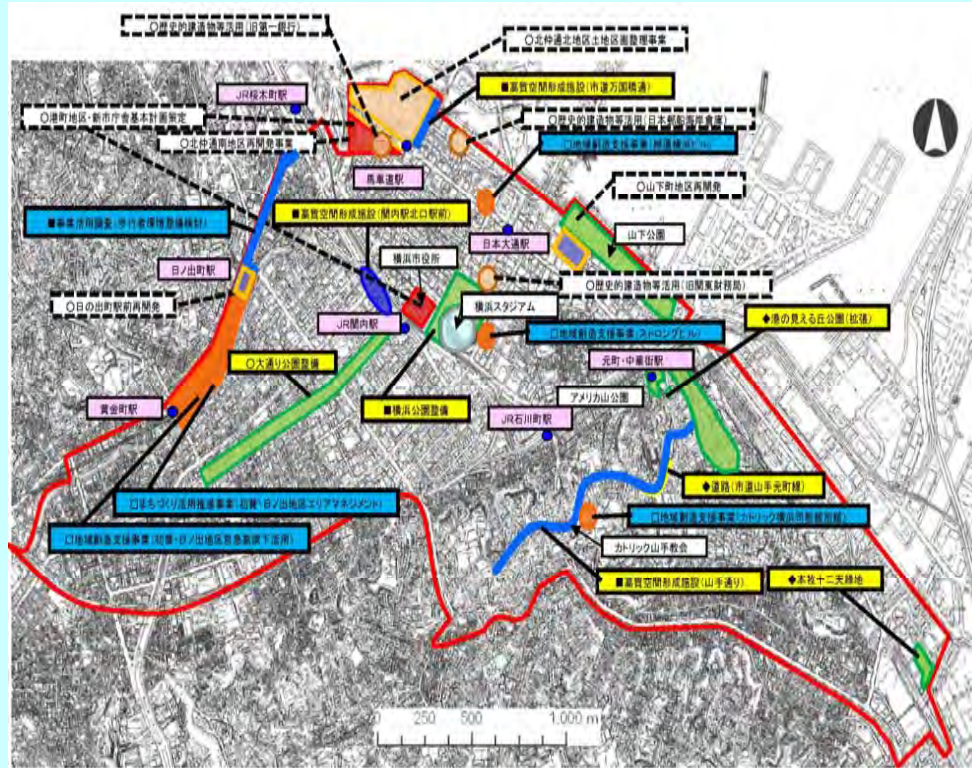
関内・関外周辺地区(神奈川県横浜市) まちづくり交付金の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
新市庁舎整備を核として、都心機能・都市基盤の再整備、歴史的資源の活用による観光振興などにより、にぎわいの創出や回遊性の向上を図り、関内・関外周辺地区の活性化を促進する。	駅乗降者数	単位:人/日	(参考値:458,000) 509,000	H19	(参考値:480,000) 533,000	H25	534,438(推計)	H25
	山手の公開西洋館の入館者数	単位:人/年	726,864	H19	750,000	H25	921,769	H24
	初黄地区小規模営業店舗再利用件数	単位:件数	73	H19	100	H25	145	H25



大通公園整備



高質空間形成施設(市道万国橋)



横浜公園整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題1: 業務や商業における事務所数・従業者数の減少→関内関外活性化計画の取組みにより、商業立地するこの地区のインフラ改善やまちの魅力アップにつながった。しかし、厳しい経済情勢により、抜本的な改善はみられていない。企業にとって進出意欲を高めてもらうため、関内・関外周辺地区全体として、引き続きまちの魅力を高める取組みを進める必要がある。</li> <li>課題2: 関内駅を中心とした一体感のある駅前空間が未整備→基幹事業であるマリナード地下街の整備に、別事業で行っている関内駅の改良事業(バリアフリー工事、駅前空間整備)を併せることで、駅を中心とした一体感のある駅前空間の整備の目標が達成されることになる。</li> <li>課題3: 歩きやすい歩行者環境整備が不十分→山手地区、万国橋通り、桜木町駅及び日ノ出町駅間の歩道の整備を進め、歩行環境の改善が図られた。しかしこの地区は、商店街を多く抱え、歩道の整備だけでは不十分であり、違法駐輪や看板の張り出しなどにより、歩きづらい状況も残っており、その対策が必要である。</li> <li>課題4: 初黄地区における元違法風俗店舗の存在→治安維持向上のため、小規模店舗の借上げを進め、転用数145件達成。治安については引き続き予断を許さない状況なので、警察などと連携し、さらなる治安維持強化策が必要である。</li> <li>課題5: 老朽化したビルが多く存在→老朽化した歴史的建造物の外観復元工事を行った。地区内にはまだ老朽化したビルが多く残っており、建替え支援など別事業により、引き続き対策が必要である。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>関内・関外地区の活性化に向けて、ハード整備に加え、公共空間の利活用などのソフト事業を充実することにより、更なる地区の活性化を図る。</li> <li>引き続き関内駅北口周辺整備や歩行者環境の改善に取り組むとともに、回遊性の強化に向けた整備等を新市庁舎整備と連携して、エリア全体の活性化につながる取組みを進める。</li> </ul>